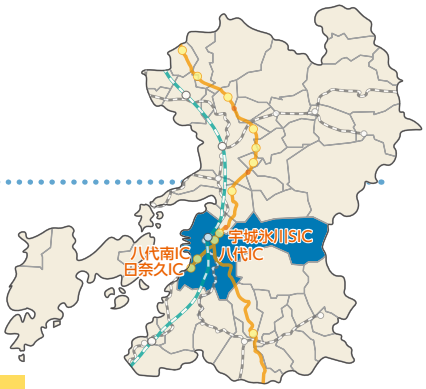
八代市（ヤツシロシ）

中村 博生 市長

第2期「八代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、新しい時代の流れでもあります。
「Society 5.0」の実現に向けた動きや、ＡＩやＩＣＴをはじめとする先端技術の活用とともに、制度や政策、組織の在り方なども変革していく、本市全体のデジタル・トランスフォーメーションとも連動し、地域課題の解決を図ってまいります。また、2015年に国連サミットにおいて採択された「ＳＤＧｓ」の理念を踏まえ、誰1人として取り残さない持続可能なまちづくりを進めてまいります。

寄付御礼

- 贈呈式開催（首長出席、寄付額200万円以上）
- 感謝状贈呈
- 地公体広報誌掲載
- ＨＰ掲載
- 視察受入
- 功労者表彰推薦
- 紺綬褒章推薦
- その他



人口

総人口……122,354人
男……56,973人
女……65,381人
世帯数…50,029世帯

面積

総面積……681.36km²
農用地……72.65km²（10.7%）
森　林　500.70km²（73.4%）
宅　地……27.38km²（40.2%）

産業構造

第1次産業……22,468（5.3%）
第2次産業 127,719（30.2%）
第3次産業 272,110（64.4%）
生産総額：百万円

人口構成比

15歳未満……12.1%
15～64歳……53.4%
65歳以上……34.6%

教育機関

小学校……24校
中学校……16校
高等学校・高専……10校
大学・専門学校他…6校

高等教育機関

熊本高等専門学校／熊本県立八代高等学校
熊本県立八代工業高等学校
熊本県立八代清流高等学校
熊本県立八代農業高校
熊本県立八代農業高校泉分校
熊本県立八代東高等学校／熊本県立氷川高等学校
秀岳館高等学校／八代白百合学園高等学校

交通アクセス

■八代市役所まで
九州自動車道 八代ICから…約5.6km
JR 八代駅から……約2.3km
JR 新八代駅から……約4.0km

※データは令和3年6月発行、熊本県市町村要覧をもとに作成しております。

第2期「八代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 2021年度～2024年度

〈SDGs〉関連するゴール

人と企業に選ばれるまち

基本目標1

Society5.0の実現に向けた技術の活用

AI、ICT、ロボット、ビッグデータ等を活用したデジタル・トランスフォーメーション（DX）を、誰一人として取り残さない、人に優しい形で推進します。

基本目標2

多様な世代が生き生きと暮らし、働き、子育てできるまち

令和2年7月豪雨からの復興、新型コロナウイルスによる社会の変容を踏まえた地方創生を目指します。

基本目標3

SDGsの推進

SDGsの理念に沿った地方創生の取組を進め、持続可能な“やつしろ”の実現を目指します。

▶▶▶ 八代市

重点プロジェクト 「若者を中心に多様な世代が生き生きと暮らし、働き、子育てできるまちづくり」の実現

分類 農業・産業関連

総事業費 ― 寄附目標額 ―

計画期間 地域再生計画の認定の日…2021年度～2024年度

数値目標
- ●住み続けたいと思う市民の割合…… 76.8% ⇒ 80.0%
- ●人口社会増減率 …… △0.26% ⇒ 0.20%

〈SDGs〉関連するゴール

住みたいまち

1 災害に強く安心して暮らせるまちづくり
- (1) 多様な担い手による防災の推進
- (2) 防災・震災のための基盤整備
- (3) 先進技術を活用した防災・減災の推進

2 全ての人が利便性を享受できるデジタル化の推進
- (1) 交通・決済等の生活面におけるデジタル化の推進
- (2) いつでも・どこでもつながる市役所づくり
- (3) 先進技術による庁舎内業務の効率化

3 地域資源を活かした多様な交流の実現
- (1) スポーツを活かした交流人口の拡大
- (2) 歴史・文化を活かした交流人口の拡大
- (3) 多文化共生のまちづくり
- (4) 物産をきっかけとした魅力向上

八代市全域

重点プロジェクト 「若者を中心に多様な世代が生き生きと暮らし、働き、子育てできるまちづくり」の実現

分類 産業振興

総事業費 ― 寄附目標額 ―

計画期間 地域再生計画の認定の日…2021年度～2024年度

数値目標
- ●若者・子育て世代が5年後に帰ってくる人数 351人 ⇒ 360人
- ●事務職・ＩＴ関連職の求人倍率 …… 0.38 ⇒ 0.50

〈SDGs〉関連するゴール

働きたいまち

1 挑戦する人と企業を応援するまちづくり
- (1) 中心市街地を核としたICT産業の集積と人材の育成
- (2) 関係人口の創出・拡大とUIJターン受入れ
- (3) 地域企業の成長支援

2 稼げる農林水産業の推進
- (1) スマート農林水産業の推進
- (2) 新規就農者に対する支援
- (3) 農林水産物のブランド確立・販路拡大

3 南九州のゲートウェイ「八代港」の利用促進
- (1) 航路誘致へのポートセールスと八代港を活用する企業の誘致
- (2) くまモンポート八代の利用促進
- (3) クルーズ船による地域の活性化

八代港コンテナヤード

課題 1 防災・減災のための基盤整備

発災時の被害の最小化を図るため、道路や情報基盤などの社会基盤の強靭化を強力に進めていきます。加えて、多様な避難を推進することで、災害時にも適切に情報を収集し、安心して避難できる体制の確保を目指します。

①多様な避難先の確保
②各地域を結ぶ道路網の強靭化
③地域イントラ（回線・サーバ）の冗長化

防災・減災のための基盤整備に向け、ご支援お願いします。

課題 2 交通・決済等のデジタル化の推進

業務改革（BPR）や制度の見直し等を実施した上で、行政サービスのデジタル化に必要な情報システムの整備を行うなど、国の動きと連動しながら、「すぐ使えて」、「簡単」で、「便利」な利用者中心の行政サービスの実現に向けて取り組みます。

①誰もが利便性を実感できる
②新技術の導入による移動の利便性向上
③自家用有償旅客運送など多様な輸送サービスの充実など

企業様からの様々なアイデアやご支援をぜひお願いします。

課題 3 歴史・文化を活かした交流人口の拡大

ユネスコ無形文化遺産八代妙見祭の様子

民俗伝統芸能伝承館などの文化施設をはじめ、日本遺産認定、八代城築城400年等を契機とした歴史文化遺産の活用促進、情報発信の強化を図ることで、地域活性化を推進するとともに、インバウンドへの対応を含めた交流人口の拡大に取り組みます。

①日本遺産を活かした交流促進
②民俗伝統芸能伝承館の整備活用
③八代市築城400年の機会活用
④地域の歴史・文化を活かしたイベントへの支援

課題 4 物産をきっかけとした魅力向上

本市の魅力向上を図るため、ネット販売やふるさと納税事業などで注目を集め始めている特産品を足掛かりとした、本市の魅力発信に取り組みます。あわせて、ふるさと納税事業などから消費者が求める特産品の情報を生産者にフィードバックし、特産品の魅力向上に取り組みます。物産をきっかけとした魅力向上に向け、企業様のアイデアやご支援をぜひお願いします。

（体験型観光）ゆず収穫体験

課題 5 ICT産業の集積と人材の育成

空き店舗を活用したICT人材研修

市民が生き生きとした生活を営むためには、生活の糧を得るための収入の確保が重要です。本市の中心市街地をIT産業の集積と人材育成の拠点として、市内外から人と企業を呼び込むだけでなく、そこに集まった人々が市内各地へも足を運ぶ仕組みを作るとともに、地域産業のデジタル・トランスフォーメーション（DX）導入とITスキル人材との融合を図るなど、生産活動にかかわる多様な人や企業を多面的に応援します。

●空き店舗等を活用したIT関連産業の集積
●企業が求めるICT人材の育成
●アーケード空間を活用

課題 6 スマート農林水産業の推進

本市の主要産業である農林水産業の持続性を高めるため、作業の効率化や省力化による生産性の向上等に向け、スマート農林水産業を推進します。

●農林水産業への先端技術の導入支援
●AIを活用した出荷予測による戦略的な生産・販売の促進
●企業の新技術実証試験等への連携、協力
●林業への高性能林業機械等の導入支援
●水産業へのスマート技術の導入支援

課題 7 くまモンポート八代の利用促進

くまモンポート八代

海の玄関口である国際クルーズ拠点「くまモンポート八代」において、多様な主体によるイベントの開催や誘致による賑わいの創出を行うとともに、「くまモンポート八代」周辺施設との連携事業を実施し、利用促進に繋げていきます。

●くまモンポート八代のイベント開催やイベント誘致による利用促進
●くまモンポート八代周辺施設連携事業
●くまモンポート八代内に観光案内所設置

くまモンポート八代の利用促進に向けた様々なアイデアやご支援をお願いします。

課題 8 クルーズ船による地域活性化

新型コロナウイルス感染症収束後のクルーズ船寄港回復を見据え、受入環境の整備を継続実施し、交流人口の拡大など地域の活性化を図ります。

●八代地域を核とした新たな観光体験プログラムの造成
●広域連携による周遊ルートの開発及びPR活動
●官民一体となったおもてなしの推進
●観光地における感染症対策などの安全対策

クルーズ船による地域活性化に向けた様々なアイデアやご支援をお願いします。

クルーズ船寄港の様子